

2022年3月期 決算説明会資料

2022年 5月 20日

セイノーホールディングス株式会社



目次

01

2022年3月期決算概要

02

中期経営計画

03

2023年3月期業績予想

01

**2022年3月期
決算概要**

輸送事業

【物量】	日当り物量前年比	104.3 %
【単価】	k g 単価前年比	99.0 %
【日数】	営業日数前年比	99.0 %

自動車販売事業

新車販売台数（国内）	前年比
【乗用車】 16,573 台	91.5 %
【トラック】 3,033 台	105.0 %

物品販売事業

主要商品売上高

【燃料販売】	収益認識基準適用による売上・売上原価への影響額	▲3,683百万円
【家庭紙販売】	前年比	105.1%

不動産賃貸事業

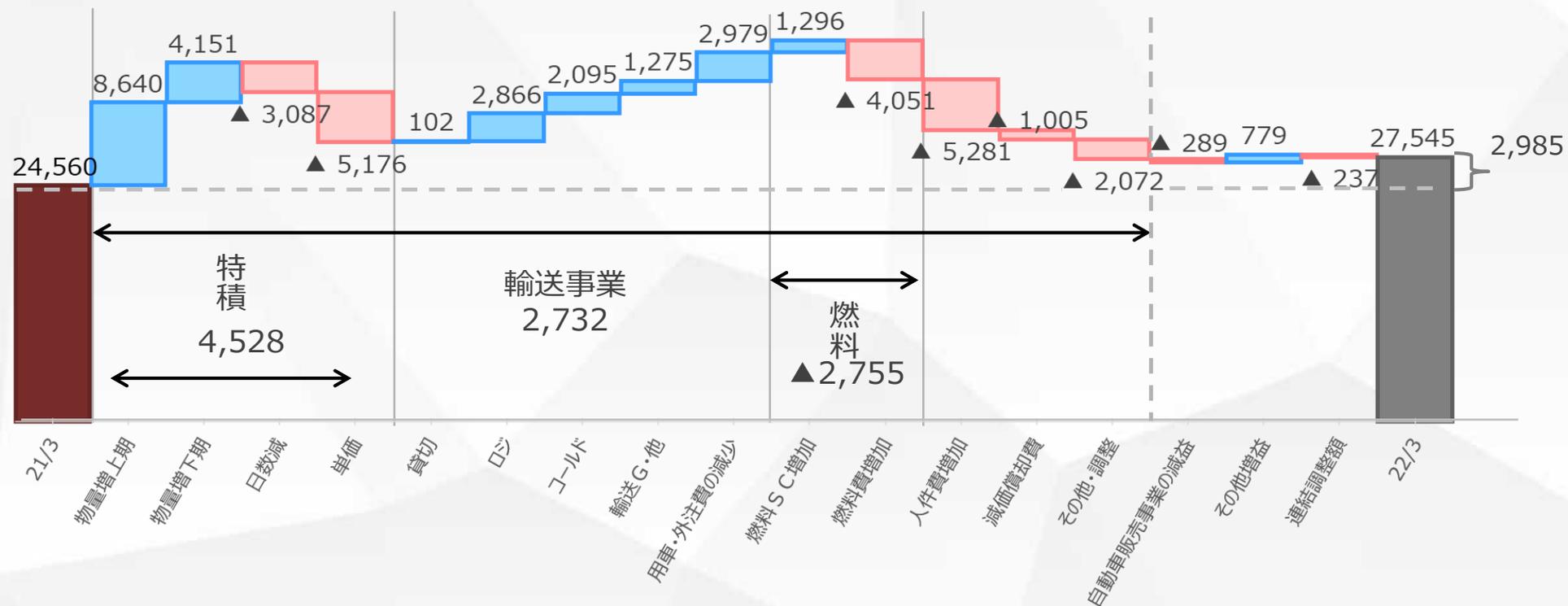
ポヌール日本橋浜町（2021年竣工）が 増収・増益に寄与
 新規賃貸物件 2 件（ポヌールコート芝浦 2021年10月、ポヌール大井Ⅲ 2022年3月）

その他

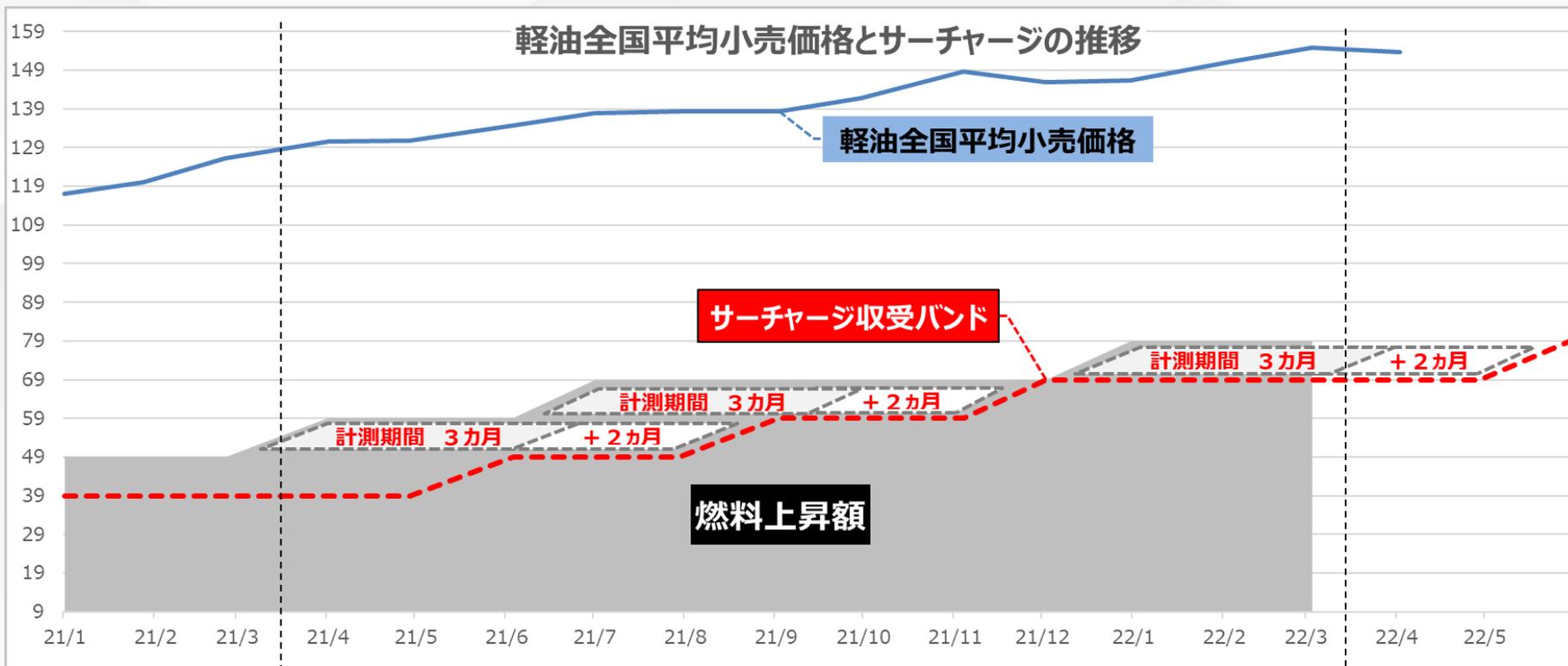
収益認識基準適用による影響額	売上	+1,272百万円
（住宅販売・情報販売など）	営業利益	+436百万円

営業利益の分析

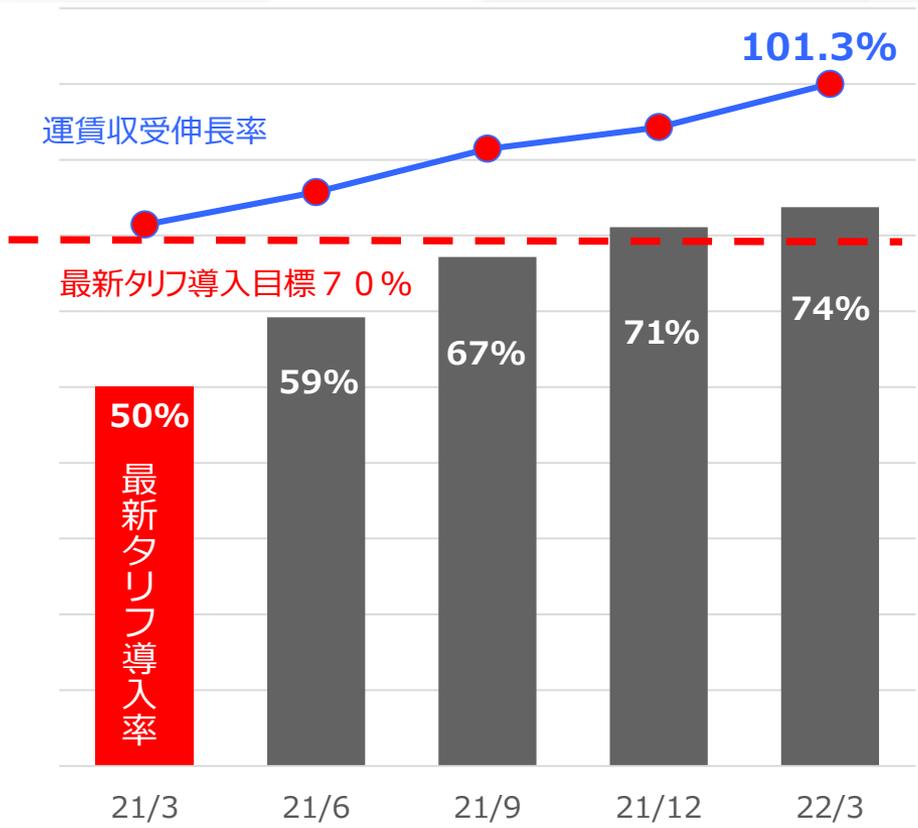
(単位：百万円)



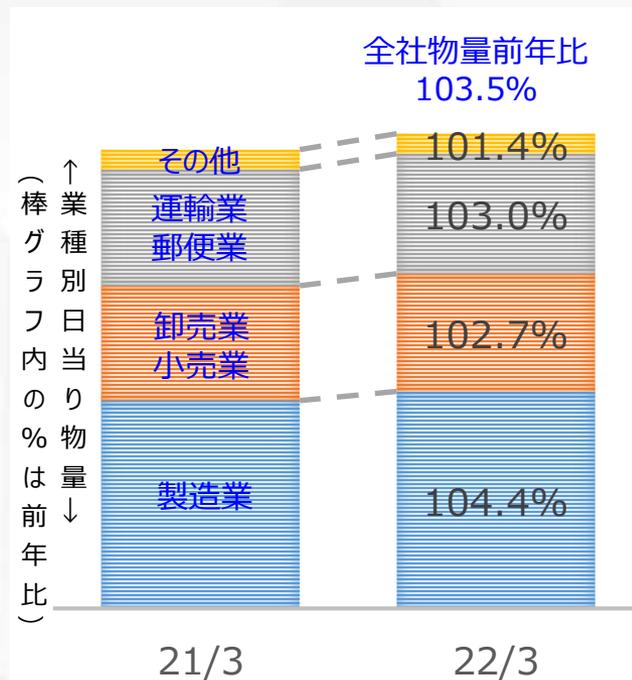
22/3 決算の概要（輸送事業【燃料費】）



最新タリフ導入・物量の推移



(西濃運輸)

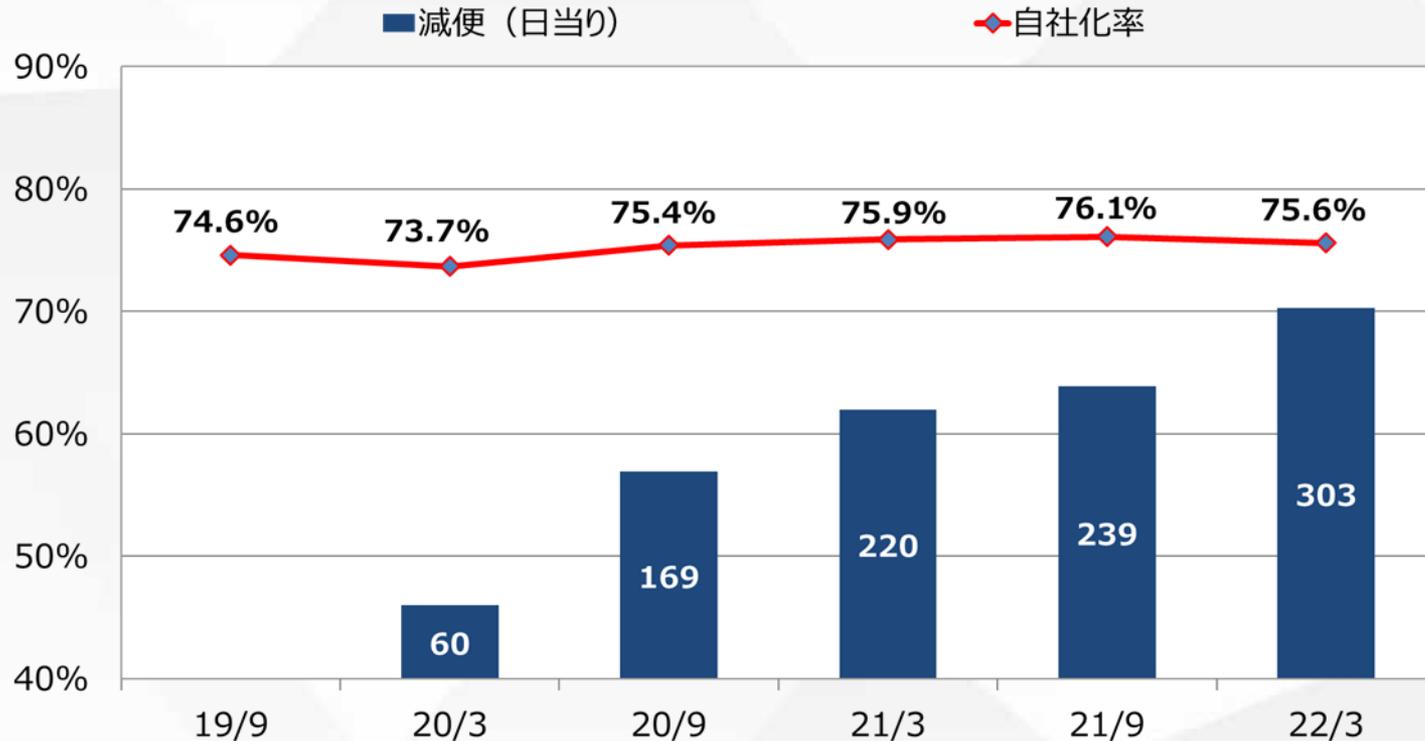


	前年比
中ロット帯物量 (300kg~1,000kg)	105.4%
中ロット帯以外物量	102.6%
全体物量	103.5%

- 最新タリフの導入は、74%（目標70%）まで切り替えが進み、運賃收受率は101.3%（21年3月比）となった。今期は、最新タリフも含めて平均運賃收受率以下のお客様への適正運賃收受の交渉を進めていく。
- 全体物量は前年比103.5%となり、全ての業種で前年を上回った。（20年3月期比 95.4%）
- 重量帯別では、中ロット帯を中心に、なびPROやデジタル・ターゲティングツールを活用し中ロット物量前年105.4% 今期も引き続き、お客様のニーズに応えながらベースカーゴの確保を進めていく。

運行便の減便と自社化

(西濃運輸)



【総減便数】 24,055便 【運行コスト削減】 1,203百万円

【自社化率】 新店開店対応により、協力会社運行増のため自社化率は停滞した。

※輸送事業4社統合に向けた前倒しでの取り組み

- ・ 2023年4月に予定している4社統合に向けて、運行便の効率化を前倒しで実施している。
- ・ 統合3社にて、28便/日（459百万円/年）の減便を実施（2022年3月期）
- ・ 今期についても、前倒しでの効率化に取り組んでいく。

乗用車販売

◎ トヨタ事業

- 新車販売は、半導体不足や部品の供給制約による納期の長期化などもあり、累計販売台数は減少した。

2022年3月期	実績	前年比
新車販売台数	16,573台	91.5%

- 中古車販売は、下取り車の減少などにより販売台数は減少したが小売価格の上昇により、売上・利益は伸長した。

2022年3月期	実績	前年比
中古車販売売上	9,318百万円	112.9%

- 2023年1月 ネットヨタ岐阜（株）を存続会社とし、トヨタカローラ岐阜（株）を吸収合併
商号をトヨタカローラネット岐阜（株）として新体制へ移行予定

トラック販売

◎ 日野事業

- 新車販売台数は、観光業の落ち込みによるバス需要の低迷が続いたものの、トラックの環境規制特需の反動減からの戻りもあり販売台数は増加した。

2022年3月期	実績	前年比
新車販売台数	3,033台	105.0%

- 車検入庫と予防整備促進、外注業務の内製化により、整備利益を確保。

2022年3月期	実績	前年比
整備利益（粗利益）	4,092百万円	104.2%

- 3月29日 国土交通省より日野自動車に対し、大型車・中型車の型式指定取り消しの行政処分

設備投資 実績

総額 29,817百万円

主な設備投資

土地	842 百万円	建物	13,607百万円
○輸送事業 滋賀県東近江市 (SSX) 340百万円		○輸送事業 名古屋西支店 (西濃運輸) 新築 3,075百万円 龍ヶ崎支店 (西濃運輸) 新築 2,456百万円 大阪貨物センター (SSX) 新築 618百万円	
車両	9,546 百万円	その他	5,822 百万円
○輸送事業 西濃運輸 5,455百万円 セイノースパ-イクス°以 657百万円 濃飛西濃 524百万円 関東西濃 486百万円		○不動産賃貸事業 東京都港区 (西濃運輸) 495百万円 ○輸送事業 省力機器他 (西濃運輸) 1,570百万円 ソフトウェア (") 930百万円	

戦略投資 実績

○ 丸久運輸株式会社 (BtoB 3 温度帯輸送・倉庫・物流加工) [8/31 100%子会社化]

02

中期経営計画

中期経営計画スローガン

『Connecting our values』

共創・共生で新たな
価値創出へつなぐ

グループ機能を最大限に
発揮するためにつなぐ

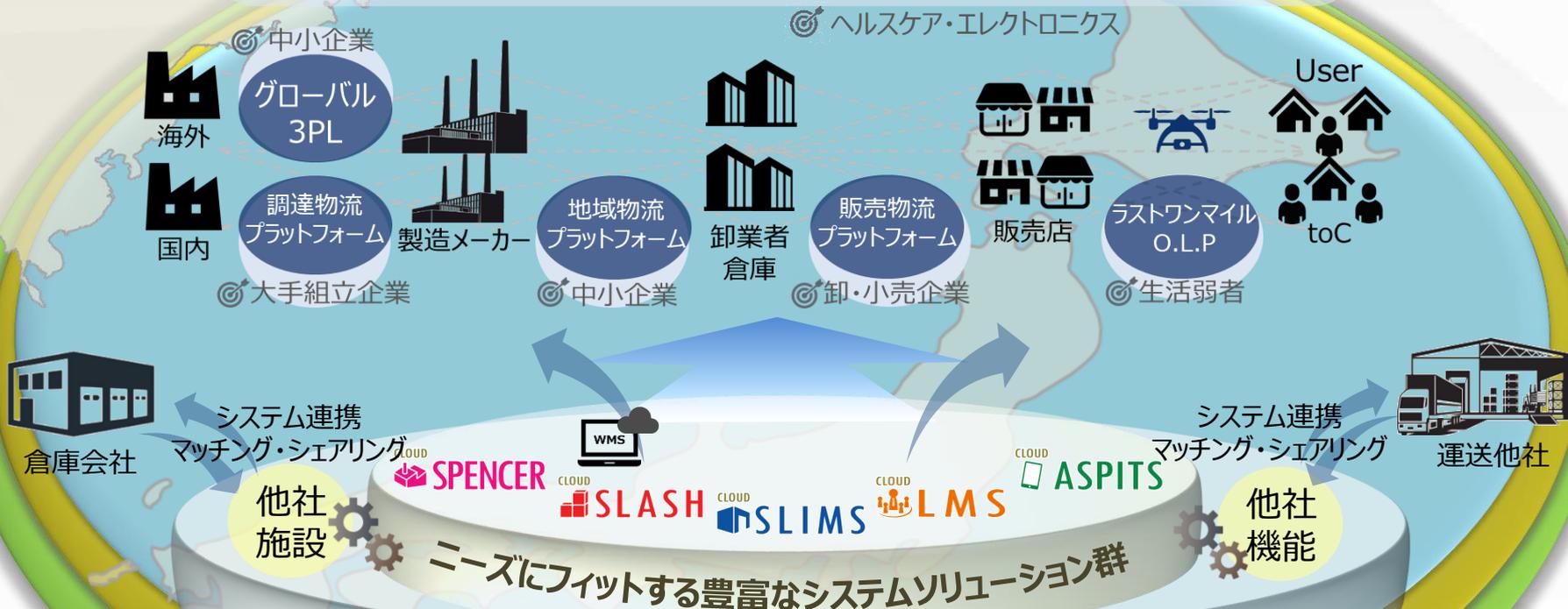


『SEINO LIMIT』

すべての人に笑顔と幸せをお届けする

お客様をストレスから解放するため、お客様の物流総合窓口へ

お客様に最も適したロジスティクスをオーダーメイド（セミオーダー）で提供
・業種業界特化型プラットフォーム No Limitチームにて展開



ニーズにフィットする豊富なシステムソリューション群

お客様 × 物流事業者 × システムをつないだオープンなプラットフォーム

- ✓ 経済貢献
- ✓ 時間貢献
- ✓ 情報貢献

面を強化し、密度の濃いコールド輸送
盤石な顧客基盤を持つ特積みをベースとしたドライ輸送
SDGsに配慮したカーボンニュートラルをはじめとする持続可能な物流

ロジスティクスインフラの拡大

- ▶ 自社物件のみならず、マルチテナント型物流施設の借用、地域倉庫会社との連携による提供スペース確保のスピード化
- ▶ 全国展開の優位性を活かし、経済合理性を意識した最適な場所と空間を提供
- ▶ 自社ロジトランス拠点による輸送サービスと組み合わせた機能的・時間的価値を提供

お客様のバリューチェーン向上に貢献

- ▶ 組立て・分解作業や、部品洗浄等、お客様の製造工程に一步踏み込んだファクトリー機能により付帯業務を軽減
- ▶ 洗練され、要望水準の高い顧客を抱えることで、KPI管理や、改善レポート等のデータ分析のノウハウを高め、継続的にPDCAを回したお客様の改善活動に貢献

ロジトランス

(機能的・時間的価値提供)

ファクトリー機能

(付帯業務の軽減)

継続的改善

(物流品質・生産性の向上)

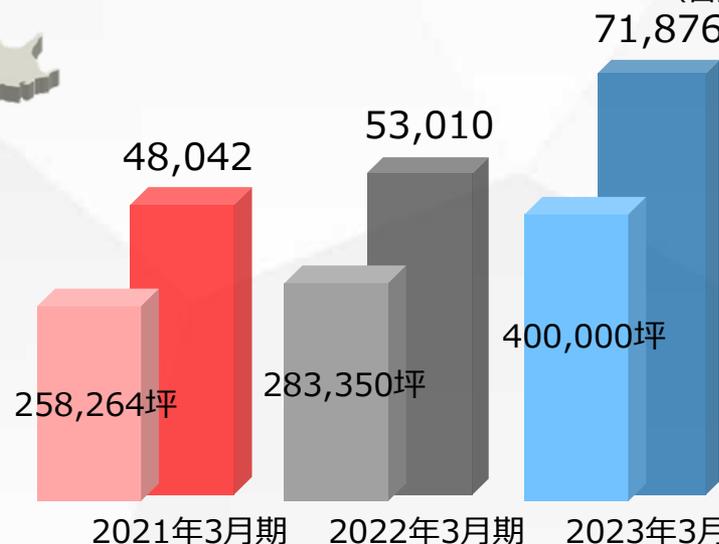
×

全国の拠点・提携先から
お客様の物流に最適な
場所とサービスの提供



具体的な改善事例・成果は
[こちらをクリック](#)

ロジスティクス事業の成長目標 (百万円)



価値創造型総合物流商社
への進化

機能・商品のブラッシュアップ

お客様と輸送事業者が共同利用できるロジスティクスを展開

- ▶ お客様のサプライチェーンにおいてより効率化を進めるため、ニーズに応じたプラットフォームでもって価値提供することで個社単体で進める以上の効率化を実現
- ▶ 更に、これらプラットフォームに多くの輸送事業者を接続していくことで安定輸送かつ、輸送における非効率を解消

お客様の物流ニーズにフィットする豊富なシステムソリューション

- ▶ 調達・生産から輸配送まで物流における全フェーズをシステム面からサポート
- ▶ 他社システムと容易にシステム連携ができ、UI/UXの向上を意識した展開

他社機能の取込みを容易にした、利便性・効率性の高い物流サービスを提供



新スマート物流 『SkyHub®』

- 労働者不足、環境負荷低減、交通・物流・医療・買い物弱者問題などの過疎地の社会課題を解決
- 既存物流とドローン物流をつなぎ、いつでもどこでもモノが届く新スマート物流をオープンプラットフォームで社会実装
- デジタル田園都市国家構想の推進

(過疎地域) ※2022年4月1日総務省指定
全国1,718市町村のうち、885自治体

(社会実装、実証実験)

山梨県小菅村、北海道上士幌町、福井県敦賀市、
千葉県勝浦市、山口県美祢市、新潟県阿賀町



オープン型ラストワンマイル配送プラットフォーム (O.L.P.) の提供

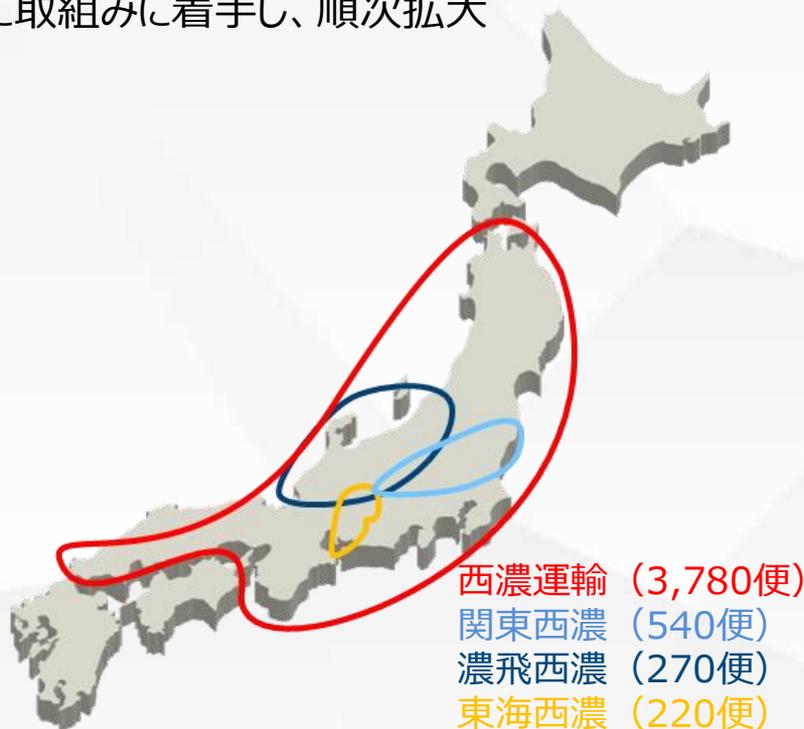
- ラストワンマイル共同配送のノウハウとシステムを持つ
ウィルポート株式会社と業務連携
- 配送管理をDX化し、高まるラストワンマイルニーズに応える配送リソースをオープンプラットフォームで提供



関東・濃飛・東海西濃を西濃運輸へ統合

- ▶ 同じ機能を有する輸送事業4社の統合を行うことで、幹線業務などを一元化して運行効率の向上、産業・人口集積の高いエリアに対し、より柔軟かつ迅速に対応でき、お客様への提供価値を高める（2023年4月より）

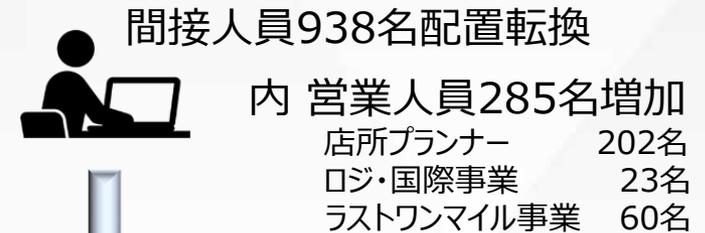
幹線ダイヤの再編、運行効率全体最適化に向け既に取組みに着手し、順次拡大



筋肉質な体制づくり

- ▶ 社内業務のDX化や断捨離により、間接人員のスリム化を実施
- ▶ スリム化した人員をロジスティクス、新規事業などの中期経営方針のコア事業や営業部門等へシフト

DX・断捨離による間接部門人員の直接部門へ50%シフト
収益性の向上



持続可能な社会の実現に向けた取組みを加速

- 温暖化対策をはじめとするサステナブルな取組みに対し、事業会社の事業部門を含めた組織横断的な取組みを推進していくため、サステナビリティ推進準備室を組成
- 2030年度のCO2排出量35%削減（2013年度比）への取組みに加え、社会課題解決に向けたSDGsを実現するためのサステナブルな取組みを他社とも連携し展開

社会的課題に対する取組み



脱炭素への取組みや、過疎地対策など
同じ志しを持つパートナーを募り、
より大きな成果へと繋げるべく連携の輪を広げ、
個社単体による取組みの限界を超えた
社会・環境課題解決を図る



Hello Kitty #HelloSDGs

© '22 SANRIO APPR. NO. L630842

脱炭素への取組み

環境対応車両の導入促進はもとより、脱炭素に対する排出量可視化等、お客様と共に取組むグリーンな物流を目指す

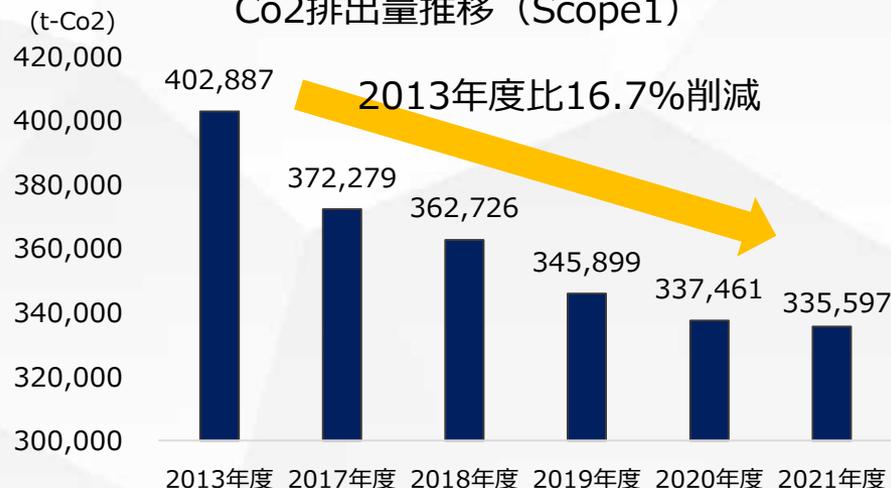


EVTラック導入



※2022年5月よりCO2可視化機能を順次展開

Co2排出量推移 (Scope1)



価値創造型SDGsの展開



ロジクス施設



物流倉庫

成長戦略



リノベーション



不動産有効活用

維持更新・BCP

収益向上

【投資実績及び計画 2020年4月～】

【対象施設】	【拠点数】	【投資金額】 百万円
ロジクス施設	13	68,300
ターミナル施設	11	9,200
物流倉庫	12	28,800
リノベーション	32	15,100
不動産有効活用 (賃貸マンション)	4	3,100
自動車販売事業	13	5,100

総投資額	129,600
本年度投資金額	18,500
3カ年投資金額 (2020年4月～2023年3月)	61,600

03

**2023年3月期
業績予想**

輸送事業

◎ 1日当たり物量

(西濃運輸)

	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
前年比	101.3%	101.5%	101.4%	101.6%	101.4%	101.5%	101.4%

◎ Kg単価 (実費込)

(西濃運輸)

	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
前年比	100.3%	100.5%	100.4%	100.6%	100.8%	100.7%	100.6%

自動車販売事業

◎ 新車販売台数

	上期	(前年比)	下期	(前年比)	通期	(前年比)
乗用車販売	8,253台	97%	9,235台	114%	17,488台	105%
トラック販売 (除く比国)	934台	57%	356台	25%	1,290台	42%

設備投資計画

総額 25,000百万円

主な設備投資計画

土地 2,200 百万円

- 輸送事業
岡山県岡山市（西濃運輸） 1,131百万円

車両 6,000 百万円

- 輸送事業
西濃運輸 3,400百万円
セイノスパーイクスプレス 392百万円
濃飛西濃 602百万円

建物 11,800 百万円

- 輸送事業
豊見城物流センター（沖縄西濃） 1,414百万円
高崎物流センター（関東西濃） 710百万円
大阪貨物センター（SSX） 1,090百万円
- 自動車販売事業
各務原店 新築移転（トヨタカローラ） 695百万円

その他 5,000 百万円

- 輸送事業
省力機器他（西濃運輸） 2,100百万円
ソフトウェア（"） 570百万円

※ M&Aについては別途



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ先

セイノーホールディングス株式会社

財務 I R 部

〒503-8501 岐阜県大垣市田口町 1 番地

TEL : 0584-82-5023 FAX : 0584-82-5043

<http://www.seino.co.jp/seino/shd/>

E-mail : i.r@seino.co.jp